

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年11月9日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東
 コード番号 6417 URL <https://www.sankyo-fever.co.jp/>
 代表者 (役職) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久
 問合せ先責任者 (役職) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 大島 洋子 TEL 03-5778-7777 (代)
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 平成30年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	29,770	40.3	3,249	—	3,786	—	2,904	—
30年3月期第2四半期	21,223	△33.3	△5,576	—	△4,969	—	△3,409	—

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,119百万円(—%) 30年3月期第2四半期 △819百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	35.79	33.93
30年3月期第2四半期	△42.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	376,402	332,546	88.0
30年3月期	396,291	337,242	84.8

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 331,214百万円 30年3月期 336,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
31年3月期	—	75.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	4.4	12,000	17.9	13,000	14.8	9,000	62.1	110.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー 社 (社名) 、 除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年3月期2Q	89,597,500株	30年3月期	89,597,500株
31年3月期2Q	8,421,699株	30年3月期	8,421,329株
31年3月期2Q	81,176,013株	30年3月期2Q	81,176,717株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が継続する一方で、台風・豪雨、大地震等、相次ぐ自然災害が経済に少なからず影響を及ぼしました。

当パチンコ・パチスロ業界では、平成30年2月1日から施行された「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」（いわゆる改正遊技機規則）に準拠した遊技機がようやく型式試験に適合し始め、市場にも投入されました。

当社グループでは当第2四半期連結累計期間において、新規則で新たに認められた設定付きパチンコを業界最速で市場投入いたしました。パチンコパーラーにおいては、新規則機についてまだ試験導入的な位置づけではありましたが、今後の集客可能性などについて注目を集めました。しかしながら旧規則機の設置可能期限がまだ残っていることから新台入替は低調に推移しております。このような状況下ではありましたが、当社グループは新規タイトルをパチンコ4タイトル、パチスロ2タイトル投入したほか、平成29年8月に発売したパチンコ「フィーバー戦姫絶唱シンフォギア」のロングランヒットによる追加販売も業績に寄与し、前年同四半期を上回る売上、損益を計上することができました。

以上の結果、売上高297億円（前年同四半期比40.3%増）、営業利益32億円（前年同四半期は55億円の営業損失）、経常利益37億円（前年同四半期は49億円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益29億円（前年同四半期は34億円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高257億円（前年同四半期比165.9%増）、営業利益71億円（前年同四半期は43億円の営業損失）、販売台数69千台（前年同四半期は24千台）となりました。

主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバーアクエリオンW」（平成30年8月）、Bistyブランドの「どらむ☆エヴァンゲリランPINK」（平成30年8月）、JBブランドの「J-RUSH4」（平成30年9月）の他、リユース機としての販売が中心となりましたが、新規則対応の6段階設定搭載第1号機となる「フィーバー革命機ヴァルヴレイヴW」（平成30年8月）を投入いたしました。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、売上高15億円（前年同四半期比79.7%減）、営業損失12億円（前年同四半期は12億円の営業利益）、販売台数は3千台（前年同四半期は17千台）となりました。

主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「パチスロ トータル・イクリプス」（平成30年7月）であります。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高22億円（前年同四半期比39.1%減）、営業利益81百万円（同61.4%減）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高2億円（前年同四半期比6.8%増）、営業損失2億円（前年同四半期は2億円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,764億円であり、前連結会計年度末と比べ198億円減少しました。これは主に、有価証券が29億円増加となりましたが、受取手形及び売掛金が130億円、現金及び預金が68億円、投資有価証券が26億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は438億円であり、前連結会計年度末と比べ151億円減少しました。これは主に、電子記録債務が65億円、支払手形及び買掛金が45億円、未払金（流動負債「その他」に含む）が30億円、未払法人税等が14億円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ46億円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を29億円計上した一方、配当金の支払い60億円、その他有価証券評価差額金が18億円減少したことによるものであります。この結果、純資産は3,325億円となり、自己資本比率は3.2ポイント増加し、88.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	105,568	98,705
受取手形及び売掛金	26,489	13,430
有価証券	181,999	184,999
商品及び製品	248	324
仕掛品	285	164
原材料及び貯蔵品	1,628	2,740
その他	6,443	4,101
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	322,660	304,464
固定資産		
有形固定資産	41,277	41,249
無形固定資産		
のれん	132	88
その他	231	221
無形固定資産合計	364	310
投資その他の資産		
投資有価証券	25,015	22,390
その他	7,375	8,388
貸倒引当金	△21	△20
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	31,989	30,378
固定資産合計	73,631	71,937
資産合計	396,291	376,402
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,304	4,798
電子記録債務	11,326	4,779
未払法人税等	2,369	961
賞与引当金	803	946
資産除去債務	3	—
その他	6,790	3,884
流動負債合計	30,599	15,370
固定負債		
新株予約権付社債	20,046	20,036
退職給付に係る負債	4,784	4,881
資産除去債務	59	62
その他	3,559	3,505
固定負債合計	28,449	28,485
負債合計	59,048	43,856

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	329,499	326,316
自己株式	△38,782	△38,784
株主資本合計	329,306	326,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,952	5,130
退職給付に係る調整累計額	△73	△38
その他の包括利益累計額合計	6,878	5,092
新株予約権	1,057	1,331
純資産合計	337,242	332,546
負債純資産合計	396,291	376,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	21,223	29,770
売上原価	10,414	12,529
売上総利益	10,809	17,241
販売費及び一般管理費	16,385	13,992
営業利益又は営業損失(△)	△5,576	3,249
営業外収益		
受取利息	99	94
受取配当金	407	319
その他	104	129
営業外収益合計	610	542
営業外費用		
その他	3	5
営業外費用合計	3	5
経常利益又は経常損失(△)	△4,969	3,786
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産廃棄損	10	2
投資有価証券売却損	42	—
特別損失合計	55	2
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△5,022	3,784
法人税、住民税及び事業税	91	1,116
法人税等調整額	△1,705	△236
法人税等合計	△1,613	879
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,409	2,904
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,409	2,904

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,409	2,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,622	△1,821
退職給付に係る調整額	38	35
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	—
その他の包括利益合計	2,590	△1,785
四半期包括利益	△819	1,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△819	1,119
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△5,022	3,784
減価償却費	1,223	1,219
のれん償却額	67	43
株式報酬費用	249	264
引当金の増減額(△は減少)	144	140
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	172	147
受取利息及び受取配当金	△506	△413
売上債権の増減額(△は増加)	7,565	13,059
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,176	△1,067
仕入債務の増減額(△は減少)	△280	△10,910
その他	△3,219	△1,300
小計	△1,783	4,968
利息及び配当金の受取額	389	361
法人税等の支払額	△1,394	△2,059
法人税等の還付額	242	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,545	3,271
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,548	△5,550
定期預金の払戻による収入	—	5,549
有価証券の取得による支出	△35,000	△38,000
有価証券の償還による収入	35,000	36,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,650	△1,053
投資有価証券の取得による支出	△9	—
投資有価証券の償還による収入	16,000	—
投資有価証券の売却による収入	544	—
貸付けによる支出	△200	—
貸付金の回収による収入	554	11
その他	6	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,696	△3,042
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2	△2
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△6,088	△6,088
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,091	△6,092
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,059	△5,863
現金及び現金同等物の期首残高	251,818	274,017
現金及び現金同等物の四半期末残高	252,877	268,154

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,673	7,642	3,644	20,960	263	21,223	—	21,223
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,673	7,642	3,644	20,960	263	21,223	—	21,223
セグメント利益 又は損失(△)	△4,321	1,257	212	△2,851	△284	△3,135	△2,440	△5,576

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,721	1,548	2,218	29,489	281	29,770	—	29,770
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	25,721	1,548	2,218	29,489	281	29,770	—	29,770
セグメント利益 又は損失(△)	7,195	△1,247	81	6,029	△217	5,811	△2,562	3,249

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。